



東北商店株式会社
www.tohokushoten.com

被覆線・雑品
非鉄金属買収

貿易業

東北商店株式会社
□本社
大阪市住之江区新北島5-3-16
TEL:06-6683-8828
□南港事業所
TEL:06-6613-8838
□千葉支店
TEL:0436-76-7277
□名古屋支店
TEL:0567-94-5688

グループ会社

東北エント株式会社
兵庫県姫路市網干区浜田1585
TEL:079-271-5025
www.tohoku-ent.com

日刊メタルレポート

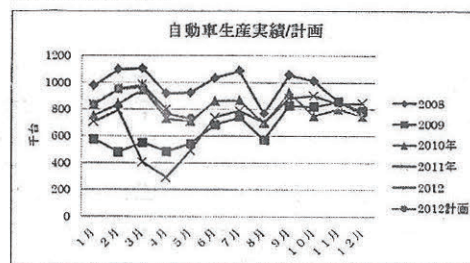
◆自動車生産台数

	2月	3月	4月
生産台数	95万2268台	98万4567台	799474台
前月比	+13.7%	+3.4%	-18.8%
昨年対比	+19.7%	+243.7%	+173.5%

◆自動車販売台数

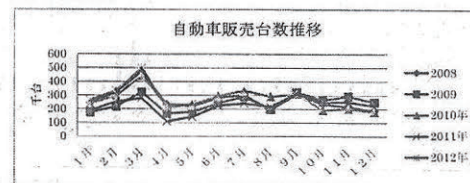
	3月	4月	5月
販売台数	49万7959台	20万8977台	23万6366台
前月比	+49.4%	-58%	+13.1%
昨年対比	+178.2%	+192%	+166.3%

自動車生産台数及び実績推移



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

◆日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前月比一八・八%減の七九万九、四七四台であった。
◆日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前月比一三・一%増の二万六、三六六台(前年比一六六・三%増)。(面へ続く)

○ドル下落しての前半締めとなった。後半はフランスのオランド新大統領がG8でユーロ共同債について言及するなどプラス面もあったが、ECBドラギ総裁がギリシャのユーロ残留については是非でもというわけではない、とのコメントや、中国当局が過去のような景気対策は現在考えていないなどの発言を嫌気し暴落。六月一日現在、前半から四六〇ドル下落の七、五一七ドル、建値六三万円のスタートとなった。

【前月の経済指標】

発行所
株式会社 日刊金属新聞社
本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表
北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話 (076) 444-6836
購読料 半年44,100円(前納) 3ヵ月22,050円



橋本健一郎氏

住宅
関連
底入れ感も先行き不安が

自動車生産、販売とも堅調

橋本金属
アルミ橋本健一郎氏リポート①

【概況】五月前半はフランス大統領選でサルコジ大統領が敗北したのをかわ切りに、今度はギリシャで再建賛成派の連立与党が敗北、留めはドイツの州議会選挙でメルケル大統領率いる国政与党が過半数割れ。以上による欧州救済プランの崩壊懸念が台頭し大幅暴落、七、九八〇ドル(セツル)と約五五

輸出
は電気銅、スクラップとも減少

輸入は電気銅が三〇・四％増加

(一面より続く)

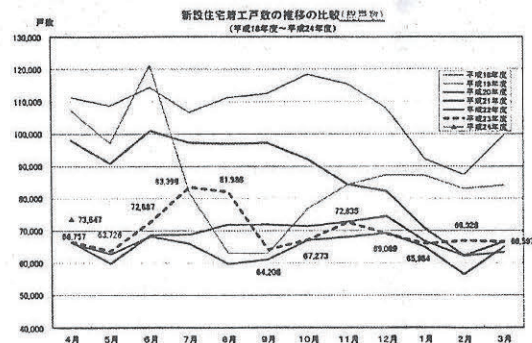
◆新設住宅着工戸数

国土交通省によると、新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)五・七％増(昨年比一〇・三％増)の七万三、六四七戸であった。

◆新設住宅着工戸数

	2月	3月	4月
新設住宅着工戸数	6万6928戸	6万6597戸	7万3647戸
季節調整 前月比	+11.6%	-7.6%	+6.7%
昨年対比	+7.5%	+5%	+10.3%

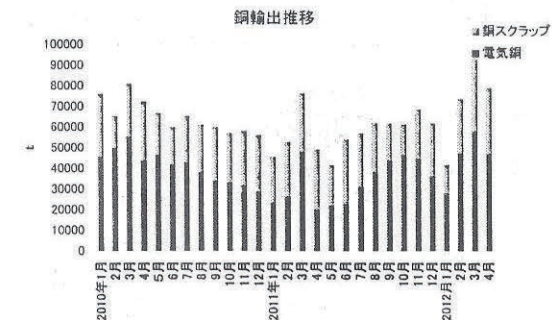
新設住宅着工戸数の推移



◆貿易関連指標

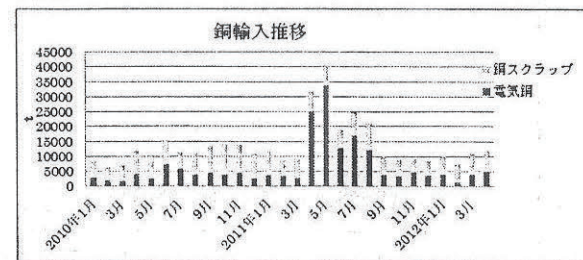
財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が一八・九％減の四万六、八〇七t、スクラップが一・一％減の三万二、〇〇九t。

輸出	2月	3月	4月
電気銅	4万7035 t	5万7724 t	4万6807 t
前月比	+67.6%	+22.7%	-18.9%
スクラップ	2万6470 t	3万5946 t	3万2009 t
前月比	+96.2%	+35.8%	-11%



輸入	2月	3月	4月
電気銅	1272 t	3810 t	4969 t
前月比	-66.2%	+200%	+30.4%
スクラップ	6321 t	7151 t	7048 t
前月比	+0.6%	+13.1%	-1.4%

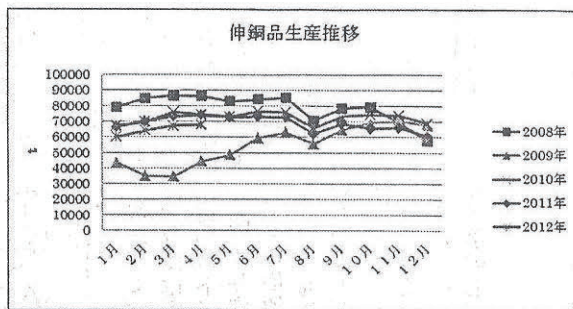
輸入推移



出典 財務省 貿易統計

【前月の国内指標】

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比一・三％増の六万七、九〇t(昨年対比八・一％減)。

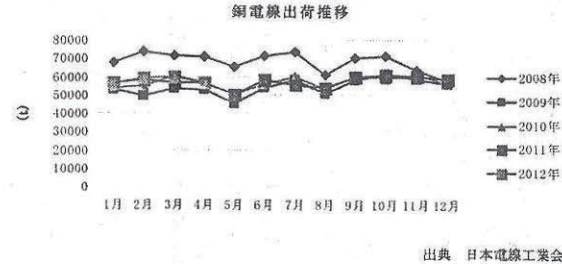


出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は前月比五・九％減の五万六、四〇〇tであった(昨年対比〇・四％増)。(六面に続く)

LM E 銅相場 上値限定的か—欧州混乱根深く

(二面より続く)



【見通し】
前月同様に自動車関連は絶対好調、住宅関連も底入れが感じられたが欧州懸念の再燃で先行き不安が台頭している。

自動車生産は前年比一七四%増の七九万九、四七四台と九カ月連続上昇。新年度後も堅調に推移。

また国内自動車販売台数も二二万六、三六六台で前年比一六六%増と急上昇。

自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比一・三%増の六万七、九〇〇tの昨年対比八・一%減とまたまた前年割れ。

銅電線出荷量は、前月比五・九%減の五万六、四〇〇t、昨年対比〇・四%増と三カ月連続回復へ。今回も自動車向けに助けられた形に。

新設住宅着工数は季節調整前月比五・七%増の七万三、六四七戸。前年比は一〇・三%増と大幅回復。

輸出に関しては、電気銅輸出が前月比一九%減の四万六、八〇七tと三カ月ぶりの減少。銅スクラップも一・一%減の三万二、〇〇九tとこちらも二桁減少した。

輸入は前月に続き、全体としては今だ本格的な回復基調には懐疑的だとの見方があるが、絶対量の発生量的大幅減少から輸入は引き続き増加。電気銅が三〇・四%増の四、九六九t、スクラップは一・四%減の七、〇四八t。

銅需給に関しては、今のところ自動車関連の本格的な需要が継続、販売面で自動車が前年比一六六%増と大幅回復。

また住宅着工数は一〇・三%増(前年比)と大幅増加今後も期待。ただその他の関連業界は引き続き悪化しており、伸銅品生産に関しては六カ月連続悪化の八・一%減(前年比)。ただ絶対的な発生量の不足から電気銅需要は今後もタイトなとの予測。

銅価格に関しては、やはり仏大統領選でのサルコジ氏の落選やドイツ・メルケル首相の脆弱な政権基盤。また六月十七日のギリシャ再選挙の行方によっては欧州救済プランが崩壊する可能性もありかなり危険。仮に米・中・欧の金融緩和発言があったとしても政局の混乱は根深い事から上値は限られ七、九〇〇ドルあたり、下値も最悪の場合でも米、中の金融緩和期待が下支えしLM E価格で七、〇〇〇〇七、九〇〇ドル。銅建値に関しては六〇〇六七万円程度と予測している。

具体策を打ち出せず

世界的な金融不安に対し G7緊急電話協議

日米欧の先進七カ国(G7)が緊急電話協議を五日開き、急激な円高・ドル安、ユーロ安や、世界的な株安をもたらししている金融不安に対し危機感を表明した。十七日のギリシャ再選挙をめぐる市場が一段と動揺する事態も予想されているため、これ以上の混乱を回避したいとの決意を示した形だ。しかし、対応は後手に回った上、具体策を打ち出したとは言えず、不透明感は払拭されていない。

欧州危機や世界経済の減速懸念を背景に、四日には東証株価指数(TOPIX)がバブル崩壊後の安値を更新。米ダウ工業株三〇種平均も同日終値で年初来安値を更新した。世界同時株安の様相となったが、G7はこうした状況に追い込まれる形で電話協議の緊急開催を決めた。

ギリシャ再選挙で反緊縮派が勝利した場合、同国のユーロ離脱懸念が高まる公算は大きい。さらに、債務残高が大きいスペインやイタリアなどにも不安の目が向けられており、危機が一気に拡大する恐れもある。即効性のある対策は難しいが、今回のG7を踏まえ、どのような手が打たれるのか市場は注目している。